

| OBインタビュー

株式会社古川製作所



会社名：株式会社古川製作所

所在地：広島県三原市沼田西町小原200-65

創業：昭和32年（1957年）6月

従業員：272名（2014年4月現在）

事業概要

様々な食品の包装に使われる真空包装機や自動袋詰シール機など、自動化機械の設計から製造、納品後のアフターサービスまでを行う。

ウェブサイトURL：<http://www.furukawa-mfg.co.jp/>

Q.日本へ留学した時のお話しについて教えてください。

日本に留学したきっかけは、母国で大学に在籍していた時に、日本の経済産業省と文部科学省が実施していた「アジア人財資金構想」の広島大学「日本型ものづくりを体得した工学系留学生育成プログラム」を先生から紹介されたからです。

応募して2009年10月に入学しました。このプログラムは海外から留学生をリクルーティングし、国費奨学金を受給しながら、2年間産学連携専門教育（日本型ものづくりPBL、日本ビジネスとものづくり）、ビジネス日本語・日本ビジネス教育、インターンシップ等を行い日本企業に就職するプログラムです。

Q.日本での就職活動について教えてください。

就職活動については、「日本型ものづくりを体得した工学系留学生育成プログラム」において、ビジネス日本語、就職活動セミナー、模擬面接等の支援を頂きました。

2010年12月から就職活動の準備を始めました。インターネットで企業情報を収集したり、SPI試験の対策を行ったりしました。

2011年2月からは、会社説明会への参加、エントリー、面接を行いました。エントリーは10社行い、最終的には4社から内定を頂きました。



株式会社古川製作所
技術部生産技術開発課 于 姍さん（中国 遼寧省）
広島大学大学院 工学研究科 機械システム工学専攻
2011年9月卒業

就職先を決めたポイントは、修士の研究を古川製作所と共同研究を行っていたこと、2010年の夏季にインターンシップを1ヶ月半行ったので、社内の様子もよく理解できましたし、また、社員の方々に優しく接していただき、仕事の仕方や雰囲気も好きだったので就職先を古川製作所に決めました。

就職活動で苦労したのは、会社説明会の開催する場所が東京や大阪、福岡が多く、広島の近くで開催することが少なかったため、大学の授業とのスケジュール調整を行い参加することが難しかったです。

Q.現在の仕事の内容を教えてください。

初めは半年間の新人研修が行われ、各部署での研修を行いました。製造部では実際に機

械の組み立てを行いました。現場の機会を触れることもできたので楽しかったです。

それ以外にも社外の研修もあったのですが、1泊2日の禅寺での研修は印象的でした。

1時間以上座禅をして足が痺れて立てなくなり、また、音を立てずに食事をする等、外国人には厳しかったですが、日本独特の文化を体験できたのは新鮮でした。

研修を終えて、希望どおり現在の技術部生産技術開発課に配属され、現在は、自動真空包装機の設計と新機種の開発に携わり、2次元と3次元の図面を書いています。

これまで働いていてうれしかったことは、自分が設計に携わり完成した機械がうまく

作動し、クライアントが使いやすい機械ができた時が一番達成感を感じます。

Q.キャリアビジョンについて教えてください。

短期的には、今の仕事で経験を積んでクライアントが使いやすい機械を作れるように頑張りたいと考えています。

長期的には、上海や台湾に赴任して日本の働き方や考え方を現地スタッフに伝えると共に、低いコストで品質の良い機会を作りたいと考えています。